

20

物語 (6)

星野くんの二塁打

吉田甲子太郎

学習日 月 日

学習のめあて

○ 細部を読みこみ、全体の理解を深めましょう。

読んで考えよう

● Rクラブはきのう試合に勝ち、見事に選手権大会出場を決めました。しかし、監督の別府さんはみんなにお祝いの言葉をかけることができないのでした。

別府さんは、ひざの上に横たえたバットを、両手でゆっくりまわしていたが、それをとめて、静かにことばを続けた。

「ぼくが、監督に就任するときに、きみたちに話したことばを、みんなは覚えてくれているだろうな。ぼくは、きみたちがぼくを監督としてむかえることに賛成なら、就任してもいい。町長からたのまれたというだけのことでは、いやだ。そうだったろう、喜多くん。」

喜多は、別府さんの顔をみて、強くうなずいた。

「そのとき、きみたちは、喜んで、ぼくをむかえてくれるといった。そこで、ぼくは、きみたちとそうだんして、チームの規則をきめたのだ。いったん、きめたいじょうは、それを守るのが当然だと思う。また、試合のときなどに、チームの作戦としてきめたことには、ぜったいに服従してもらわなければならぬ、という話もした。きみたちは、これにも ① ころよく賛成してくれた。

それで、ぼくも気持ちよくきみたちと練習を続けてきたのだ。おかげで、ぼくらのチームも、かなり力がついてきたと思っている。だが、きのう、ぼくは ② おもしろくない経験をしたのだ。」

ここまで聞いたとき、「これは自分のことかな。」と、星野はかるい疑問をいだいた。けれども、自分が、しかられるわけではないと、思いかえさないではいられなかった。

なるほど、ぼくは、きのう、バントを命じられたのに、かってに、打撃

監

さいしょにチェック！ 次の問いに答えよう！

① この物語の主人公は、だれですか。

② どんな場面がえがかれていますか。

監督の () が、チームに話をしている場面

① 線①「ころよく賛成してくれた」とありますが、チームのみんなはどんなことに賛成したのですか。本文中から書きぬきましょう。

() としてきめたことは、ぜったいに () ということ。

★ヒント★監督が就任するときに、どんな約束をしたのか、読み取ろう。

② 線②「おもしろくない経験」とありますが、具体的にどのような経験ですか。

() を命じたのに、星野くんが () に出たこと。

★ヒント★星野くんがきのうの試合で何をしたのか、よく読もう。

② (1)の結果、チームはどうなりましたか。

★ヒント★星野くんの心の中のことばに注目しよう。

15

10

5

に出た。それはチームの統制をやぶったことになるかもしれない。しかし、その結果、ぼくらのチームが勝利を得たのではないか……。

そのとき、別府さんは、ひぎの上のバットをコツンと地面においた。そして、ななめ右まえにすわっている星野の顔を、正面から見た。

「まわりくどいいいい方はよそう。」^③ ぼくは、きのうの星野くんの二塁打が気

にいらなかった。バントで岩田^{いわた}くんを二塁へ送る。これがあるとき、チームできめた作戦だった。星野くんは**不服**らしかったが、とにかく、それをしようとしたのだ。いったん、しょうちしておきながら、かってに打撃に出た。小さくいえば、ぼくとのやくそくをやぶり、大きくいえば、チームの統制をみだしたことになる。」

「だけど、二塁打を打って、Rクラブをすくったんですから。」
と、岩田がたすけぶねを出した。

「いや、いくら結果がよかったからといって、統制をやぶったことに変わりはないのだ。……いいか、みんな、野球は、ただ、勝てばいいのじゃないんだよ。健康なからだをつくと同時に、団体競技として、協同の精神をやしなうためのものなのだ。ぎせいの精神のわからない人間は、社会へ出たって、社会を益することはできない。」

④ 別府さんの口調が熱してきて、そのほおが赤くなるにつれて、星野^{しんいち}仁一の顔からは、血の気がひいていった。選手たちは、みんな、頭を深くたれてしまった。

「星野くんはいい投手だ。おしいと思う。しかし、だからといって、ぼくはチームの統制をみだした者を、そのままにしておくわけにはいかない。」

⑤ そのままで聞くと、思わず一同は顔をあげて、別府さんを見た。星野だけが、じつとうつむいたまま、石のように動かなかった。

40

35

30

25

20

③ 線③「ぼくは、きのうの星野くんの二塁打が気にいらなかった」とありますが、なぜですか。本文中から四字と六字で書きぬきましょう。

〈監督との

をやぶり、星野

くんが

をみだし

たから。〉

★ヒント★直後の監督のことばの中からさがしてまとめよう。

④ 別府監督は、社会に出るにあたってどのようなことが必要だと思っていますか。

ア 思いやりと反省の気持ちを大切にすること。

イ 協同やぎせいの精神を持つこと。

ウ 勝利への執念^{しつげん}と努力をおしまないこと。

★ヒント★監督は、星野くんがしたことと社会に出たあとのことを結びつけて話をしてるね。

⑤ 線④「顔からは、血の気がひいていった」⑤「じつとうつむいたまま、石のように動かなかった」とありますが、これは星野くんのどのような気持ちを表していますか。

気持ち。

★ヒント★やくそくをやぶったことを軽く考えていた星野くんの気持ちが、監督の話聞いて、どのように変化したのか、読み取る。

このことば、使ってみよう

→ 好ましくない。

・おもしろくない

不満に

→ 思うこと。

・不服

人がこまっていたとき

→ 力を貸すこと。

・たすけぶね